

砕石パイル工法とは

最近注目を集めているのが、固化剤を一切使用しない天然砕石パイル工法「HySPEED工法」です。これは、地盤に孔を掘り、その孔に砕石を詰め込み、柱状砕石補強体(砕石パイル)を形成する、天然素材のみを使った地盤改良工法です。天然の砕石を使用するため、環境汚染の心配がなく、埋設物にもならないため、将来、建物撤去や土地売却の時に入れた柱や杭を抜く必要がない(産廃費用が発生しない)のがメリットです。詳しくは、下記HPを参照。

<http://www.hyspeed.co.jp/>

(P.51に関連情報あり)

■六価クロム問題(国土交通省通達)

セメント及びセメント系固化材を地盤改良に使用する場合、現地土壌と使用予定の固化材による六価クロム溶出試験を実施し、土壌環境基準を勘案して、必要に応じ適切な措置を講じることが国土交通省より、公共の工事については義務づけられ、民間の工事に対しては通達がなされています。